

2009年5月28日

## 米長期金利急騰も持ち高調整のドル買い戻しで米トリプル安は回避

今週のリスクイベントの一つであった米自動車GMの再建問題は、債務削減計画で同意が得られず、連邦破産法11条の適用申請が不可避な情勢となった。もっとも、市場の関心は破産法適用申請後に移っており、混乱を最小限に抑えるための事前調整の進捗状況が焦点となるため、現時点では目立った影響はみられていない。

二つ目の注目イベントであった米4月中古住宅販売件数は、年率換算で前月比+2.9%の468万戸となり、市場予測の466万戸を上回って2ヶ月ぶりの増加に転じたが、在庫件数が前月比+8.8%の396.8万戸、販売実績に対する在庫比率が10.2ヶ月分と5ヶ月ぶりの高水準(5~6.5ヶ月が適正)となったため、好材料とはならなかった。

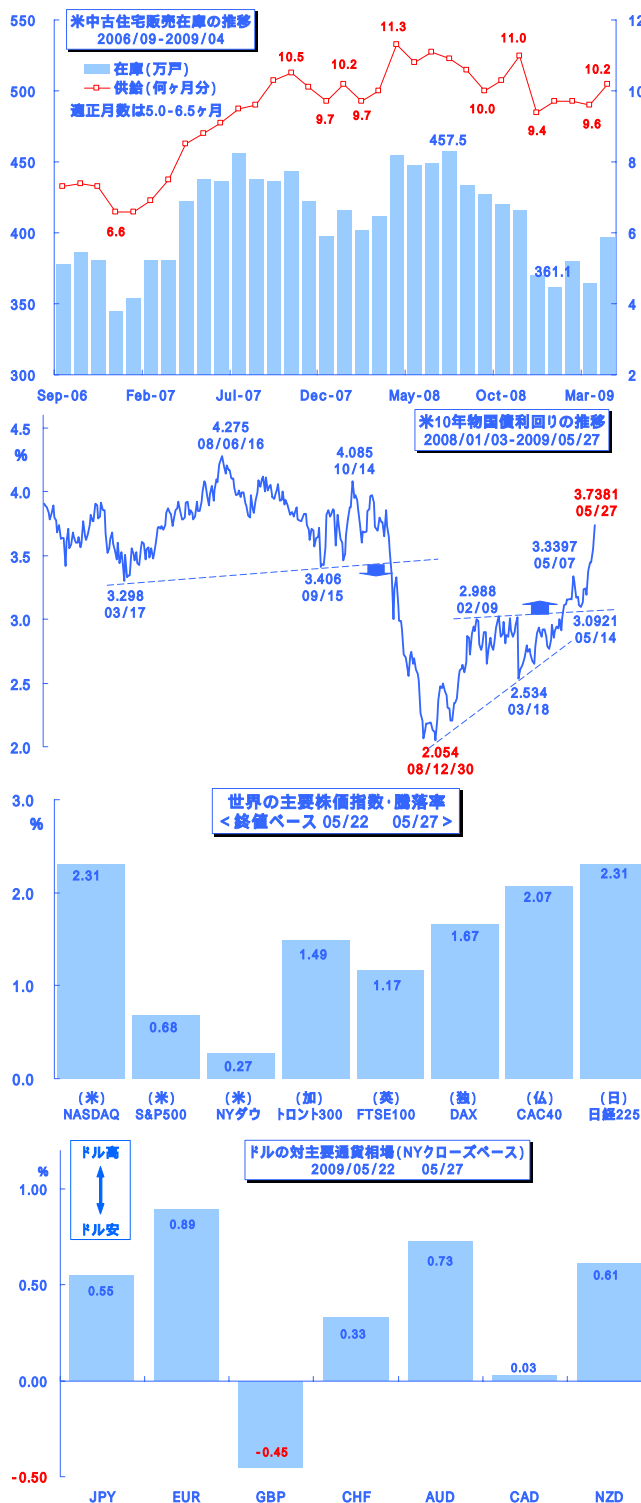
そして、3つ目の注目イベントであった米5年債の350億ドルの入札は、外国中銀を含む間接入札の割合が44.2%と、過去10回の平均32.4%を上回ったほか、投資家の需要を測る指標の応札倍率が2.32倍と、過去10回の平均2.17倍を上回る順調な入札結果となった。

しかし、過去最高に上る国債発行を吸収できないとの懸念を和らげることができず、この日の米債券市場は4営業日連続の下落で、長期金利の指標となる10年債利回りは3.7381%と昨年11/13以来の水準へ急騰している。

米株式市場では、長期金利の急騰が借り入れコストの上昇や金融緩和効果を妨げるとの懸念から全セクターが売られる展開となり、NYダウは前日の急伸分のほとんどを失う格好となった。

為替市場では、前日の株高局面で買われた通貨が米株の急落をきっかけに売り戻されたため、米ドルは英ポンドを除く主要通貨に対して広範に買い戻され、米当局が警戒するトリプル安は回避されている。(経験則では、米金融市場が不安定な状況下ではドル高が促されることが多い)

もっとも、現状はリーマン破たん後の“質への逃避”や“リパトリエーション”で米ドルが買われた局面とは異なっており、足下の手仕舞いや持ち高調整一巡後の動向が重要となってこよう。



当レポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。記載された意見や予測等は、作成時点における森好治郎個人の見解であり、その正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることもありますのでご注意ください。

Forex Watch Kojiro Mori

本日は 260 億ドルの 7 年債入札が予定されており、6 月には本丸の 10 年債入札を控えている。市場では、年内だけで最低 2 兆ドル規模の国債発行が見込まれており、米長期金利の潜在的な上昇圧力が米経済および金融市場の波乱要因となり続けることは念頭に置いておきたい。

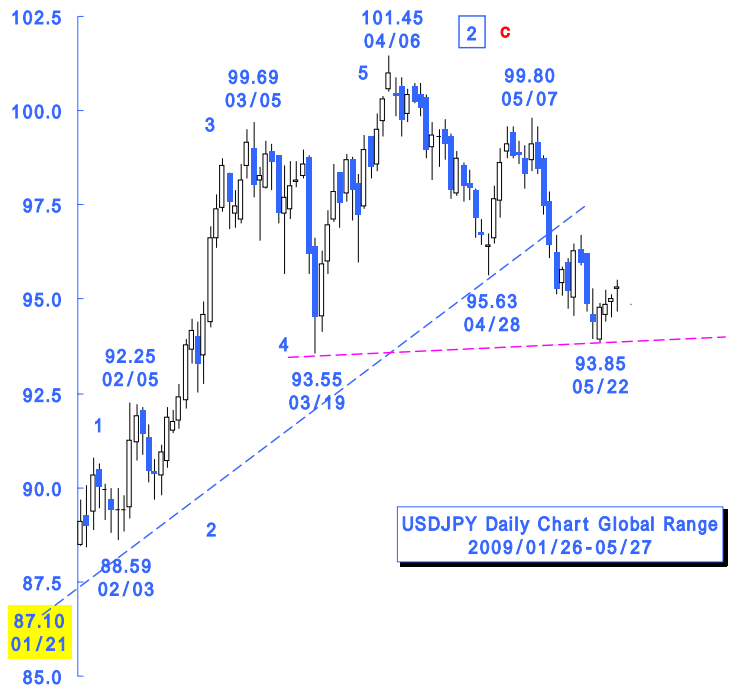
足下の米長期金利の急騰は、FRB に国債買入れ増額を促す催促相場の側面もあり、この戦いは始まったばかりといえよう。

さて、ドル/円は上値攻防の焦点であった日足均衡表の『転換線』を NY クロースで上抜け、本日 11 時現在では『雲の下限』を突き抜けて分厚い『抵抗帯』へ突入している。

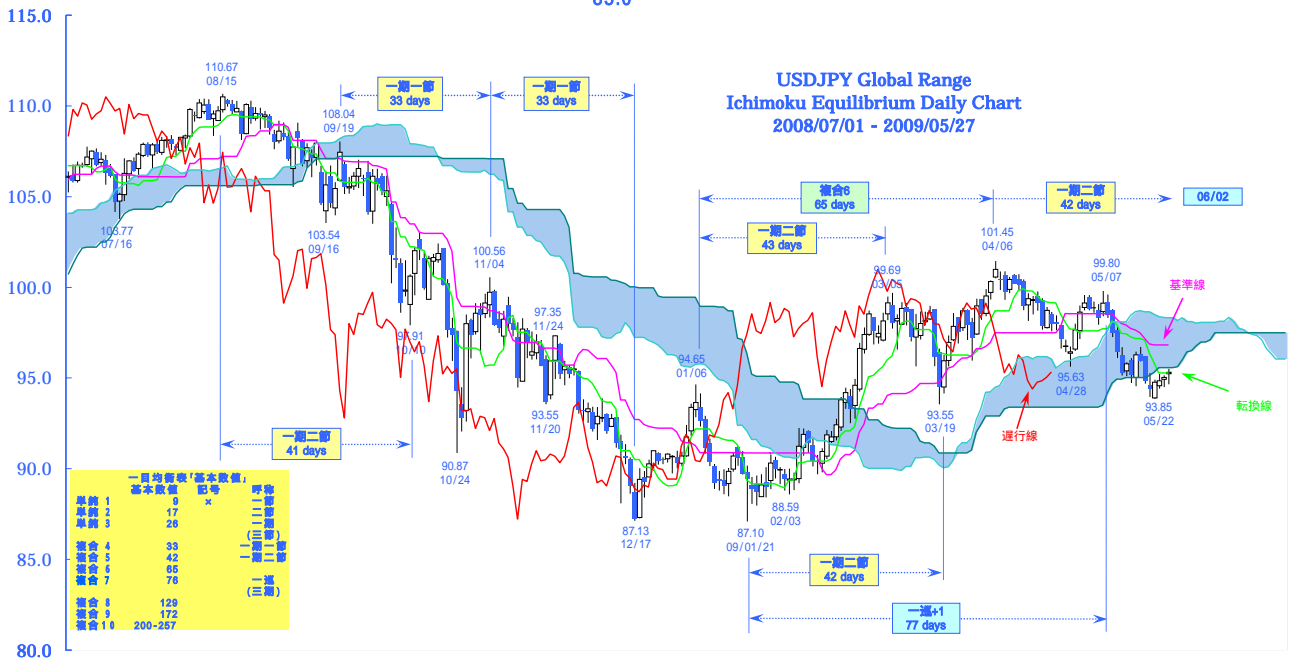
本日は Fibonacci retrace point の 96.12 円処 (= 38.2% of 99.80 93.85) を巡る上値攻防が焦点となるが、『運行線』を重視する観点からは NY クロースが 95.56 円処を維持することができるかどうか注目したい。

NY クロースの軌道を示す『運行線』が好転するには、同じ時間軸の抵抗帯や日々線を上抜く必要がある。本日は、戻りの強さを見極める必要があるが、大勢での戻り売りスタンスは維持しておきたい。

(5 月 28 日 11:30 記)



USDJPY Daily Chart Global Range  
2009/01/26-05/27



一目均衡表「基本数値」	基本数値	記号	解説
基準線 1	0	x	二部
基準線 2	17		二部
基準線 3	26		二部
雲上 4	33		(三期)
雲下 5	42		一期
雲上 6	65		一期
雲下 7	76		(三期)
雲上 8	129		
雲下 9	172		
雲上 10	200-257		

当レポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。記載された意見や予測等は、作成時点における 森 好治郎 個人の見解であり、その正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることもありますのでご留意ください。